上下水道トピックス

このたびの令和６年能登半島地震及び能登半島豪雨により
被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

Vol.26
令和7年1月1日

石川県志賀町富来（しかとぎ）活性化センターにて給水活動の様子

みんなで支える
能登半島水道の輪

Contents

- 能登半島地震応急給水活動を実施しました
- 応急給水計画について《 応急給水目標水準 》
- 入間市のデザインマンホール令和５年度県内人気投票第１位
- 令和5年度 水道事業会計・下水道事業会計の決算報告
- 水道事業及び下水道事業の経営状況について

能登半島地震応急給水活動を実施しました

～活動の流れ～

給水車へ注水活動を実施後、
現地に向かう。

給水車から仮設タンクへ水を入れ、
1日を通して給水活動を実施。

活動を終えて金沢市企業局に戻り、
本日の活動報告を実施。

※活動場所につきましては、右記地図をご参照ください。

被災地への給水支援

被災地には全国から給水等の支援が行われます。この支援は、全国の水道事業体が加入する日本水道協会が、被災地の状況に応じて支援内容や支援期間を調整し、全国の水道事業体に支援要請を行っています。

入間市上下水道部も、日本水道協会からの要請により、令和6年1月30日(火)から2月4日(日)までの6日間にわたり、能登半島地震の被災地(石川県志賀町)へ2班8名の職員を派遣して応急給水活動を行いました。

※能登半島豪雨災害における支援要請は当市にはありませんでした。

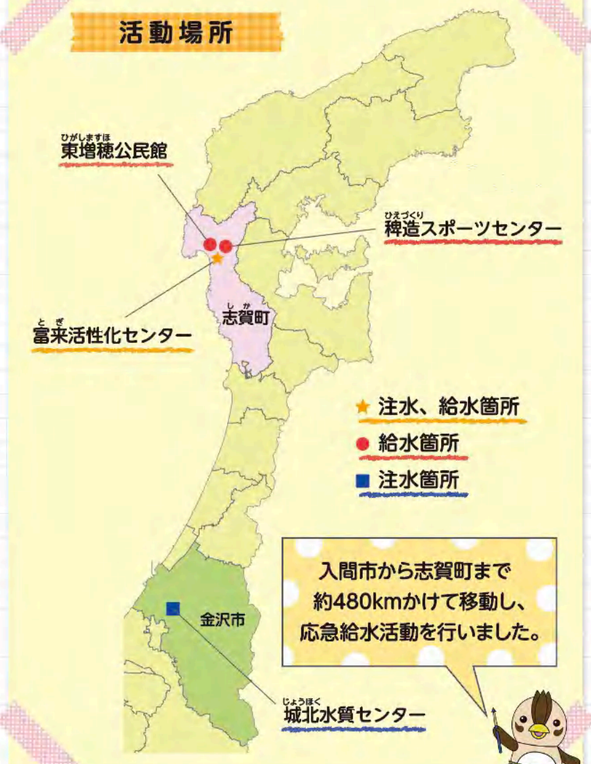
現地での活動を振り返って

現地での活動を通じ、安定して水道水を供給することの重要性を改めて実感しました。

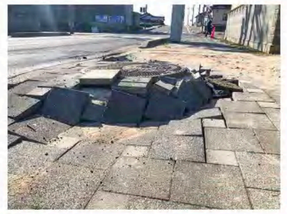
入間市につきましても、不測の事態に備えて、訓練の実施や施設の強靭化(きょうじんか)に更に取り組んでいきます。

ここで入間市の応急給水計画についても振り返ってみましょう。

活動場所



現地の被災状況



マンホールの隆起

地面が割れていて
車も通常走行できない

応急給水計画について《応急給水目標水準》

※他市の水道事業者の支援を受け応急給水活動を実施します。

災害発生時
被害地区の確認
給水方法の選定

①災害発生から3日以内
応急給水所、医療機関等へ給水を行います。
生命維持に必要な飲料水
1人・3L/日

②災害発生から1週間以内
各避難所に給水所を設置します。
炊事、洗面等の最低生活用水
1人・20～30L/日

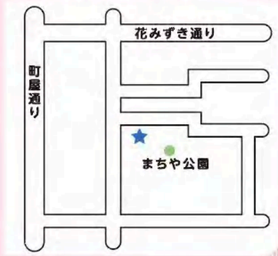
③災害発生から2週間以内
給水所を増設します。
生活用水の確保
1人・100L/日

応急給水所

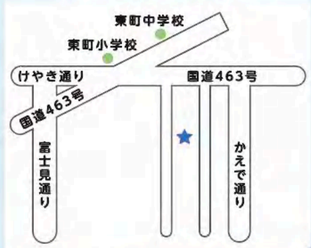
令和5年4月より、新しく地区センター化が完了した2箇所を合わせ、応急給水所が10箇所になりました。8箇所は右下QRコードをご確認ください。新しく加わった2箇所は右のとおりになります。

※上下水道トピックス　VOL.21(令和元年)
令和元年12月15日発行参照

扇町屋地区センター
扇町屋1丁目9-34



東町地区センター
東町3丁目1-35



入間市のデザインマンホール
令和5年度県内人気投票第1位

「第1回埼玉デザインマンホール人気投票」
キャラクター部門にて、
【いるティーデザインマンホール】が
第1位になりました!!

デザインマンホールは、
入間市駅・武蔵藤沢駅・博物館等
に設置されています。
ぜひ探してみてください!

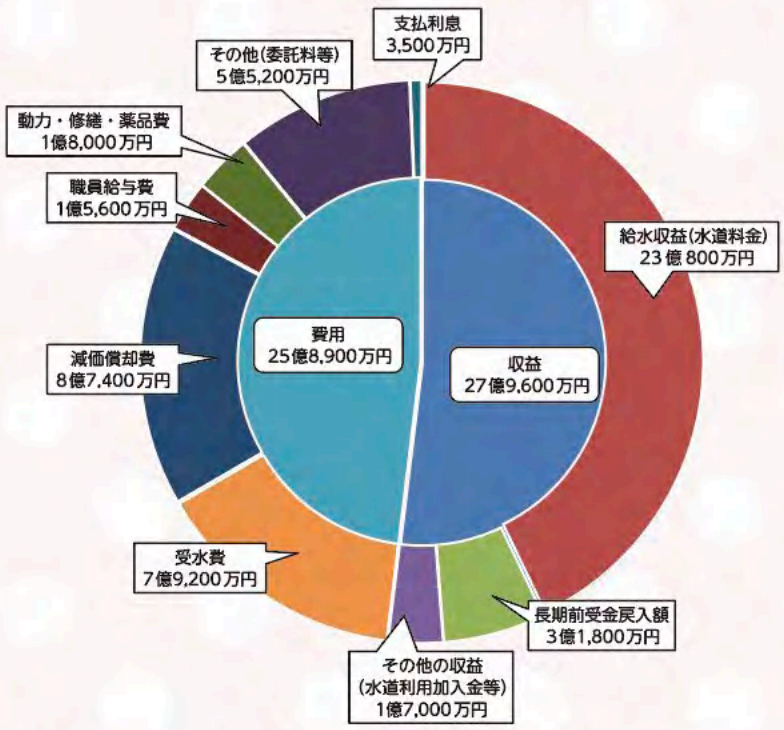
また、令和6年度第2回埼玉デザイン
マンホール人気投票もエントリーしました!
デザインは「茶娘」です!

※投票期間は終了しております。
令和6年11月1日～12月13日

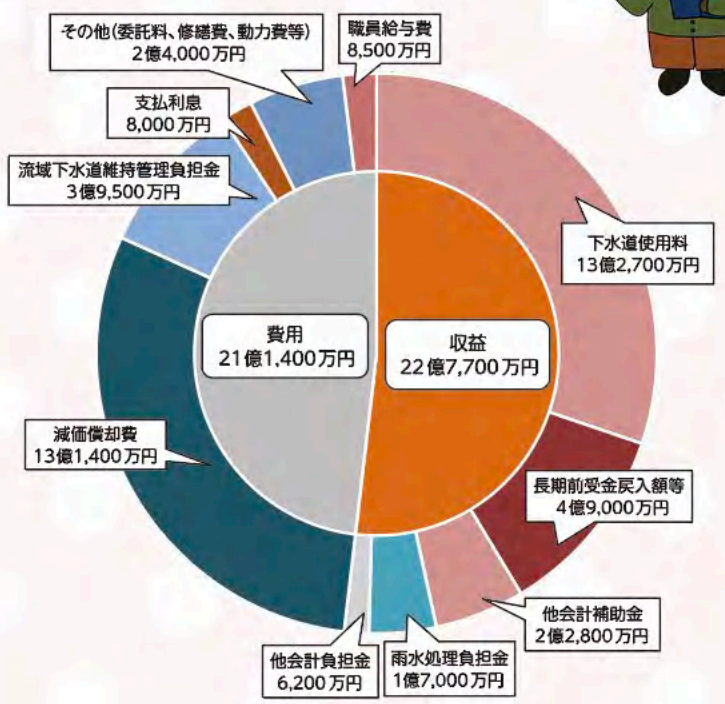
令和５年度　水道事業会計・下水道事業会計の決算報告

水道事業・下水道事業は皆さまからいただく料金等を主な収入源とし、「独立採算制」で事業を行う地方公営企業です。そのため、税金等でまかなわれる市役所の一般会計や特別会計とは別の会計となっています。

水道事業会計（税抜）



下水道事業会計（税抜）



水道事業会計・下水道事業会計の純利益

令和5年度決算において、収益から費用を差し引いた純利益は、水道事業会計では、約2億700万円、下水道事業会計では、約1億6,300万円です。これらの利益は企業債の償還に充てるために積み立てる予定です。今後も効率的で安定した事業経営に努めます。

※グラフは収益的収支(事業を運営するための財源と経費)です。見やすいように100万円単位以下を調整し表示しています。
※企業債：水道管・汚水管渠(かんきょ)等の建設改良に要する費用に充てるために国等から借りた資金。

水道事業及び下水道事業の経営状況について

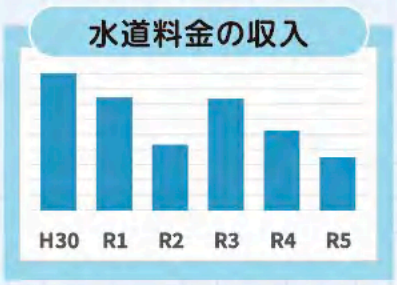
～現在抱えている主な課題～

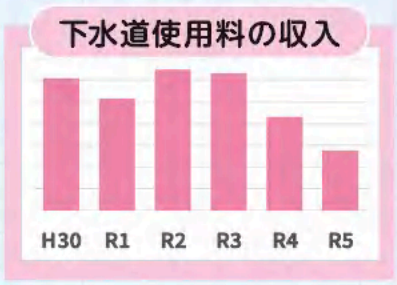
〈水道料金及び下水道使用料収入の減少〉

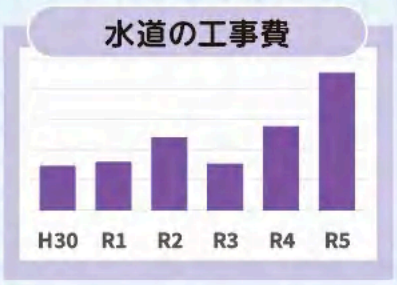
- 人口減少による水道及び下水道使用量の減少

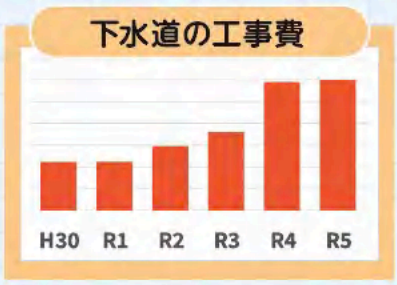
〈水道事業及び下水道事業を維持するコストの増大〉

- 物価高騰に伴う工事費の高騰
- 耐震化などの施設整備の推進
- 県営水道及び県汚水処理費の値上げ
  （入間市の水道水の約８割は県営水道から購入しております。）









今後も水道料金及び下水道使用料の収入は減少傾向になると推測されます。また、安全な水道水を安定的に市民の皆さまが利用するためには、設備更新や耐震化などの必要な工事をしていかなければなりません。そのため、今後の入間市上下水道事業は資金不足が生じてくることが見込まれます。

入間市は、効率化をはかりながら、市民の皆さまが安全で安心できる水を、安定して利用できるようにしていきます。

発行 ： 入間市上下水道部
☎04-2964-1111
HP

昨年度号より読者の声アンケートを始めました。
皆さまの声をお聞かせください！